

本日の作業



- ・トウモロコシの間引き
- ・ジャガイモの追肥
- ・オクラの種まき(オクラを選んだ方のみ)

トウモロコシの間引き

- トウモロコシの間引き作業を行います。
- トウモロコシが2本以上あるマルチ穴は間引きして1本にします。1本しか生えていないマルチ穴は、間引きをしません。
- トウモロコシの間引きは、引き抜くのではなく、ハサミで根元を切って行います。

<作業手順>

- マルチ穴のトウモロコシの数を確認し、2本以上生えている箇所を選びます。
- トウモロコシを見比べ、大きく力強く成長している方を残します。
- 間引く方のトウモロコシは根元(地面より少し低く)よりハサミで切れます。



ジャガイモの追肥

- ジャガイモの追肥と土寄せを行います。肥料は化成肥料を使います。
- スタンダード/夏野菜はジャガイモ5株に対して大人の手で二掴み程度あげます。
ハーフコースはジャガイモ2株に対して大人の手で1掴み程度あげます。

<作業手順>

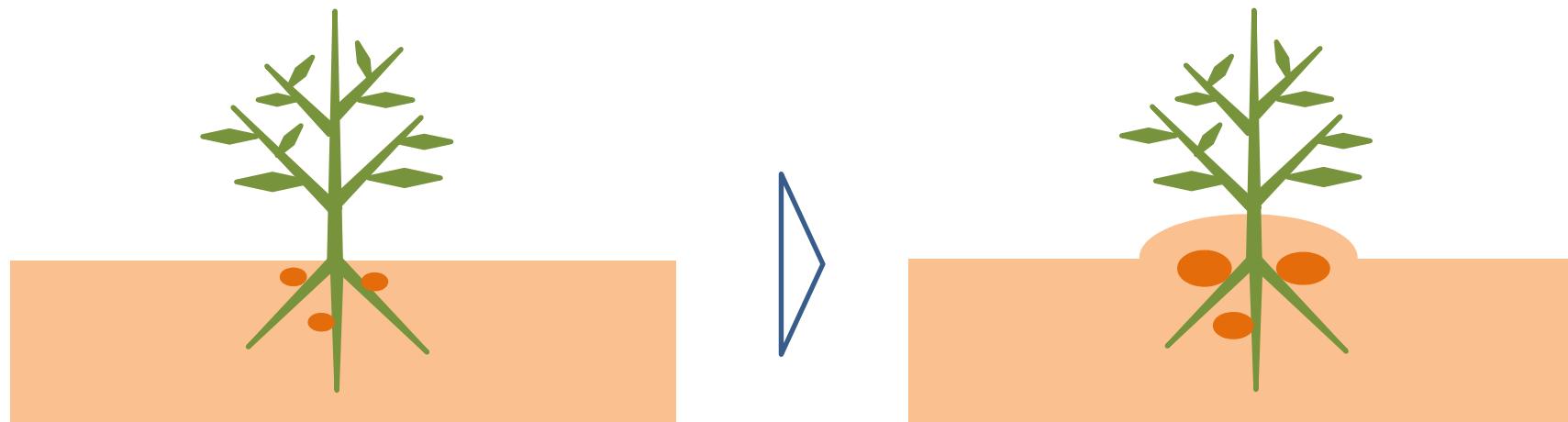
- ① 化成肥料一掴み分、ジャガイモの5株の列の左側に均等にまきます。この時、肥料はジャガイモから離れたところではなく、株元にまきます。反対側にもまきます。
- ② ミニスコップで回りの土を寄せ、化成肥料に土をかぶせます。この時に周りに生えている小さな草をかきとります。



ジャガイモの追肥(補足)

- ジャガイモの土寄せの目的

6月の雨で土が流されると、芋が見えてきてしまいます。ジャガイモの芋の部分は茎ですので、太陽の光を浴びると緑色になってしまいます。これを防ぐため、ジャガイモの根元に土を寄せておきます。

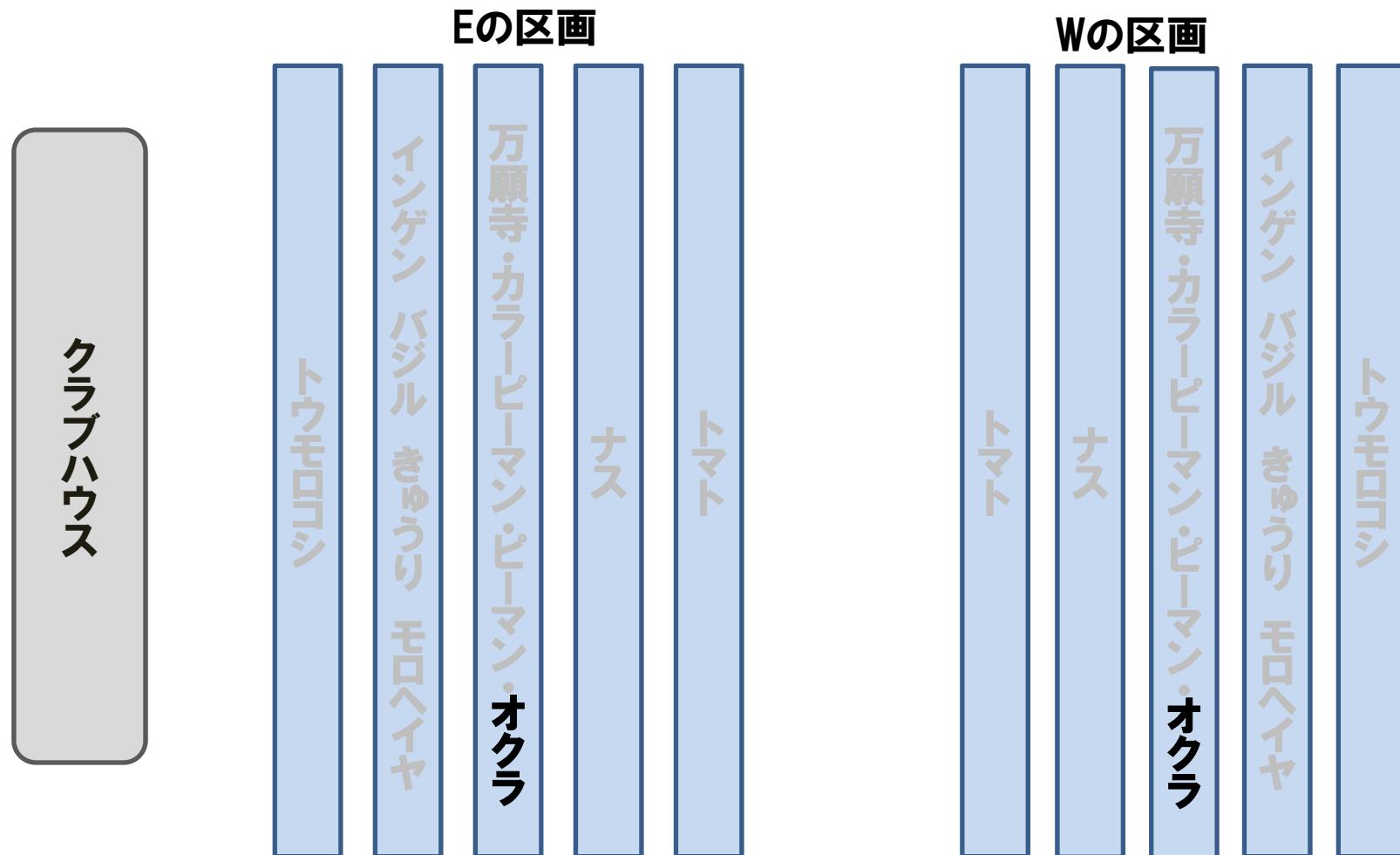


芋が大きくなっても土の上に出ない

オクラの種まき



五日市街道



オクラの種まき

- オクラの種まきをします。
- オクラは暖かい時期に種まきをします。ポモナの夏野菜では、一番最後の種まきとなります。5月に入ってから。
- オクラは吸肥力が強く生育も旺盛で、元肥が多すぎると過繁茂となり、低節位の着果不良の原因となることや、実が固くなりやすいので、密植します。
- また、オクラは種の皮が固いので、一晩水につけた種を植えます。

<作業手順>

- ① カッターでマルチに四角く印してあるところを切り、穴を開けます。
- ② 穴の4隅に指を使って第二関節くらいの深さの穴を開けます。
- ③ 1-2晩水につけた種を穴に入れて、土をかけます。

